

2018 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2020 年度分)

団体名	大阪 I J
<p>■この活動を行った目的</p> <p>現状では中学校 2 年生の保健体育の時間に心肺蘇生法と AED を座学で学んでいる。 小中学校の間に実技を子ども達に体験させることにより、座学の理解が深まり記憶にも残るだろうと考えています。また小学校 6 年生については心肺蘇生法にある胸骨圧迫心臓マッサージの効果も十分に得られるという報告も出ています。よって、学校内にある AED も同時に学ぶことにより、万が一学校内で急病や事故が発生したとしても救命のリレーが出来上がるのではないかと考慮します。</p> <p>■プラスの効果として</p> <p>2018 年から学校の先生方の校内研修でも使用するようになりました。子ども達はいち早く大人に知らせ、引き継いだ大人も AED を操作できるような体制を提案することができた。</p> <p>■小学校の道徳の時間を活用しいのちの大切さを指導する</p> <p>4 5 分授業で、クイズ形式の座学（例：解剖生理、119 番通報）胸骨圧迫心臓マッサージ、AED の使用方法 ※助成していただいた、人形と AED を使用する</p> <p>➡校内研修は、救命の一連の流れ展示、119 番通報から心肺蘇生法、AED 取扱要領を実施、アレルギー対応のエピペンや想定訓練を実施する</p> <p>■最終の目標と成果</p> <p>昨年は、実際に指導した学校で急病が発生しました。その日は運動会が開催されていました。60 代女性意識消失。その声を聴いて私も駆け寄ったのですが、毎年校内研修をしている先生方が既に到着し、目撃情報の聴取、患者様への観察、119 番通報と誘導、運動会の途中にも関わらず 10 人近くの教諭がすぐに関わって初動を約 5 分以内でこなしていました。元消防職員の私がみても非常に感動致しました。</p>	